2024年9月19日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書
益田市デイサービスセンター湖水園 2024年度第1回

施設名：益田市デイサービスセンター湖水園

施設種類：地域密着型通所介護

会議開催日時：2024年9月17日（火） 午後1時～2時

開催場所：日本基督教団益田教会 集会室

出席者：

(人数)

利用者	0人	知見を有する者等	1人
利用者家族	0人	地域包括支援センター職員	1人
地域住民の代表	1人	益田市職員	1人
その他（代表者、管理者、施設職員等）			5人

【議題】

- ① 出席者紹介
- ② 事業活動報告
- ③ ひやりハット報告
- ④ 意見交換

【事業活動状況】

- 利用状況として、年度当初とほぼ同じ利用者数をたどっている。（一日平均利用者数約6名）新規紹介者は2名とやや低い。
- 共生型生活介護利用者（障がい者）については、8月に利用者1名減があったが、近々利用開始される方があり、その方を含めると3名の利用者がある。（一日平均利用者数約1名）

- コロナ感染症の状況だが、幸いなことにご家族で患されていても、ご本人さんには感染がなかった。職員は今年度2名がり患したが、拡がりはなかった。
- 認知症カフェについて、現在これに取り組みができるかどうか、職員間で話し合いをしている。

【ひやりハット報告】

- 今年度になってのひやりハット報告はない。
- 法人全体で施設（苦情解決責任者）と第三者委員を会して「法人サービス向上委員会」を設けている。今年度は5月にもった。ひやりハットや事故、苦情について、法人内各施設からの情報を共有し、事例を検討し、第三者委員のご意見もうかがって、サービス向上に努めている。

【質疑応答】

- 生活介護利用者はどこからの紹介なのか。
 - 基本的には相談支援員さんからだが、その前段階で「親の会」のメンバー同士での情報交換（口コミ）で湖水園が重度身障者の受け入れを開始した、という情報が知られるようになり、そこから利用につながっている。
- 生活介護利用者は介護保険利用者に比べてデイサービスの利用開始まで時間がかかるのでは。
 - 重度身障者を受け入れるにあたり、やはり既に利用されている施設等との情報交換、保護者との情報交換や意見聴取、医療的処置の方法等にどうしても受け入れ開始までに慎重にすすめなければならないことが様々にあることが、利用開始までに時間がかかる要因だと思う。
- 重度身障者さんとは職員や高齢者さんとどういう風に接しているのか。
 - コトバでのやり取りができない分、表情の読み取りや、態度の様子など、良く知っている親御さんから聞いたりしている。高齢者さんは、名前を呼ぶ等の言葉かけをしたり、本の読み聞かせをしてくださったりしながら、コミュニケーションをとっている。

- 認知症カフェの開設を検討されているようだが、認知症カフェを行うにあたり、利用者の送迎はどう考えているか。
 - 送迎、の検討までまだ議論が進んでいないが、以前益田教会で行っていた認知症カフェについては、近隣の住民を対象としており、送迎は想定、対応はしていなかった。湖水園で認知症カフェをやるとすれば、送迎のことは検討する。また、西部地域包括支援センター等との連携を取りながら、情報交換をして、検討を進めたい。

- (近隣施設の)「コーポますだ」で、今夏、「クーリングシェルター施設」として施設を地域の方に開放した。こういった取り組みから認知症カフェにつなげていくことができる。
 - 良い事例をありがとうございます。湖水園の前の道路からコーポますだに向けて散歩されている地域住民が多くいるように思っています。地域の住民のかたに向けてより良い取り組みを行いたいと思います。

次回開催は 2025 年 3 月の予定

以上